

# 船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結び —

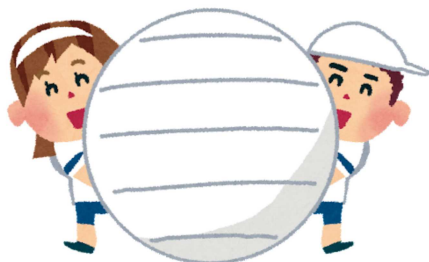
校長室だより No.12

“やさしく かしく たくましく”  
～ 本気と礼節の教育 ～  
令和3年10月19日 文責:安生昌弘あんじょうあきひろ

## ◆ 子ども達のための運動会

新しい形の“船引小学校 運動会”が無事終了しました。子ども達は学年ごとに種目を楽しみ、教室ではライブ中継を通して他学年を応援しました。保護者の皆様には多くの制限をお願いする結果となりましたことに、お詫びするとともに、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

今年の運動会は、昨年のスポーツフェスタに比べると徒競走だけでなく、チャンス競走や団体種目を行うことが出来ました。これは大きなことで、運動会の目的を十分に達成できたのではないかと考えています。実は、運動会の目的は1. 運動に親しむ気持ちを高めること 2. 体力を向上すること 3. 集団活動が出来るようにすることの3つだからです。この目的を達成するには、運動会当日ばかりで



大玉はベルマークで購入しました。

なく、練習時間も大切です。運動会を1週間後に控えた、ある日、校庭での練習から校舎内に戻ってきた子ども達に「練習はどう？」と訊いてみました。すると多くの子から「団体競技がみんなで力を合わせるので楽しいです！」と返ってきました。先生たちは上手に練習を進めてくれているなど嬉しくなりました。

教職員が運動会の片付けを終えた後、元のようにガランとした校庭を見ながら、私は教諭時代のことを反省しました。お客様や保護者の皆様に立派な運動会を見せようとする余り、集団行動に力を入れ過ぎたり、運動会をショー・アップしたものにしていたのではないか、そのために長時間の厳しい練習を子ども達に強いていたのではないかという事です。それによって、目的の1つ目“運動に親しむ気持ち”を失わせていたとしたら残念でなりません。

今回は入場行進や全員が整列する開閉会式を行いませんでしたが、学習指導要領(学校での指導内容を示した法令)の主な指導内容から集団行動が削除されている現在は運動会の必須の活動ではありません。多くの活動を盛り込み過ぎてきた運動会をコロナ禍によって見つめ直すことが出来ました。練習でも本番でも楽しみながら「たくましく」成長できる“子ども達のための運動会”を続けたいと考えています。

## ◆ いじめ問題を解決しましょう

10月11日は滋賀県大津市の中学2年生がいじめを苦に自死してから10年の節目でした。その悲劇を契機として2年後に「いじめ防止対策推進法」が制定されたことは記憶に新しいところです。「第4条 児童等はいじめを行ってはならない」は、子ども本人にも知らせなければならないと思います。保護者がいじめをしてはいけないことを自分の子どもに指導する義務やいじめられた時に守る義務、学校がいじめ防止に努める義務についても10年の節目で改めて確認しなければなりません。昨年度、学校では2件のいじめを把握し、2件とも3月までに解消したと認識しています。最近のいじめは非常に見えづらくなっています。大人が関わらなければ悲劇につながってしまうこともあります。おかしいなと思ったら、すぐ学校にご相談ください。

学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。